



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000: ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000: 活動は— 堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ/カルロ・ラビッツア会長

「皆のロータリー— 新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ/渡部 元会長

本日の例会 2月18日 第643回例会

◎卓話 『私が見た、世界のゴルフ倶楽部』
ゴルフダイジェスト社
専務取締役 編集局長 中村 信隆 氏

前回報告 2月4日 第642回 例会



◎卓話
『金融問題と国際理解』
財団法人 国際通貨研究所
理事長 行天 豊雄 氏

◎雑誌委員会報告 清原委員長

●今月は世界理解月間です。

●RI会長ノミニー決定

1999年12月1日までに対抗候補者が出なかったもので
2001～2002年度のRI会長ノミニーに、米国、カリフォルニア州の
リチャード・キング氏に決定いたしました。

●同時にRI理事ノミニーも決定いたしました。

ゾーン1には、日本の板橋敏雄氏(足利東RC)が指名されました。

正式には、6月4日～7日に開催されるブエノスアイレス国際大会で選出されます。

以上、「ロータリーの友」2月号(エベンストン便り)より。

◎慶事披露

●お誕生祝/後藤完夫君(2月1日)、関 征春君(2月7日)、
酒井一史君(2月11日)、土屋東一君(2月13日)、大山啓人君(2月13日)、
島田昌雄君(2月15日)

◎出席報告

会員70名/出席45名、欠席25名(出席規定免除者7名)
ビジター5名

ゲスト: 米山奨学生 李 承福さん

< お知らせ >

2000～2001年度版

『ロータリー全国会員名簿』『ロータリー手帳』の発行のご案内

『全国会員名簿』: 1組 10,000円(消費税別)

『ロータリー手帳』: 1部 600円()

配布時期(予定): 『全国会員名簿』 8月中旬

『ロータリー手帳』 5月下旬

お支払い方法: 次年度上期会費ご請求時(7月)

※ご購入申込みは、2月25日(金)までに事務局へお願いします。

2000年2月定例理事会議事録

日 時 2000年2月4日(金) 例会後 13:40～14:50

場 所 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間

出席者 渡部、西澤、荒木、関、山下、吉岡、宮武、大村、川鍋、小杉(眞)
(敬称略・順不同)

◎決議事項

1. 第5回クラブ協議会(3/31)テーマ「港区社会福祉協議会との連携による“車イス・ガイドヘルプの体験と講習”」を承認。
2. 3～4月プログラム予定を承認。
3. 2000～2001年度2750地区千代田グループ幹事に荒木昭文君、関 征春君を了承。
4. チャリティバザー収益金(245,500円)の使途については、継続審議事項とする。

◎報告事項

1. 会長報告/1999～2000年度RI会長賞の件
2. 幹事報告
 - ①地区新会員研修セミナー(1/21)に石井謙次君、吉田武君の2名が出席。
 - ②地区大会(3/9、10)登録/会員48名・夫人1名、RI会長代理歓迎晩餐会/2名。
 - ③田中 武会員/正会員よりシニアアクティブ会員に変更。(クラブ定款第5条第5節(a)より)
 - ④新会員・田村廣治君のカウンセラーに馬場一廣君を指名、所属委員会は副SAA
3. 国際奉仕委員会報告/幹事より
 - ①来日青少年交換学生・Maddyさんの件
2/1～2/29 マイク英会話学院に通学。
2/17 青山学院高等部の先生方とホストファミリーとの顔合せ会開催。
現在ホストファミリー後藤信夫会員宅、3月中旬より小杉眞史会員宅に移動。
 - ②米山奨学生・李 承福君(2000年3月で奨学期間終了)へ記念品(餞別)を贈る件
費用は米山奨学生会よりのクラブ補助費より充当する。
 - ③2001～2002年度財団奨学金応募募者(2名)受付の件
 - ④地区財団委員会主催チャリティ親睦ゴルフ大会(4/10)の件
4. 親睦活動委員会報告
千代田区分ゴルフ予選会(3/15)参加者7名、参加者はメークアップ扱いとする。

次週予告 2月25日 第644回例会

第3回クラブセミナー

「超我の奉仕」(Service Above Self)について

ロータリー情報委員会 吉田 用親 君

「歴代会長・幹事を囲んで、ZATSUDAN」、今回は、関さんの司会で、93～94年度会長の齊藤茂之さんと幹事の吉田用親さんから話を伺いました。

齊藤さんからは、会長を引き受ける時、あまりにあっさりOKと言ったので伝達役の沖さんがびっくりしてしまったこととか、その当時はアメリカのRCでも女性会員のことが話題になる程度だったのが、数年後にはすっかり定着しており、世の中がどんどん変化していることを実感した等、海外通の齊藤さんらしいお話がありました。

吉田さんからは、この年度には新しく始まったことがたくさんあり、事務局の移転では自ラリヤカーを引っ張って運んだこと、火曜会が未だ軌道に乗る前でご苦労されたこと、クラブ初のチャリティコンサートのことなど懐かしく話されました。所々、ここだけの話ですけれどと言われて、思わず緊張する場面もありました。

会長と幹事、まことに息の合ったコンビを伺わせるお二人の楽しい話でした。

最後に、会場からのコメントをということで、出張先から駆けつけてくれた小杉幹事、先日のインニエーションスピーチでは話足りなかったのではということで阪口さん、そして火曜会初出席の市河さんから感想をいただいた。

恒例により、2次会は「つるや」で心ゆくまで杯をあげ、さらに余勢をかって3次会まで出張の方もいらっしまったとか。

出席者(19名、敬省略・順不同) 齊藤、吉田(用)、関、吉岡、渡部、小杉、西澤、相澤、武下、大山、福島、市河、阪口、入沢、庄司、土屋、村山、高須、岩瀬 (村山記)

「ロータリーの友」雑誌の贈呈報告

今年度、雑誌委員会・広報委員会の連携活動として地元地域社会との関わりが深い当クラブをより広く一般港区民に知ってもらうため、雑誌「ロータリーの友」を寄贈する活動を計画して参りました。清原、福島両委員長が9月22日(水)「港区立みなと図書館」並びに「(社)港区社会福祉協議会」を訪問し、それぞれ発行済の3ヶ月分(7～9月号)を各1冊ずつ持参し贈呈致しました。いずれも寄贈は、1年間であつて来年6月号までのお約束をしました。みなと図書館では、新任の國友俊勝館長に雑誌の贈呈を行い、館長から「港区内に6ヶ所ある図書館の中央図書館として位置付けられ高い利用度が期待されることからこの度の雑誌の寄贈に感謝します」との謝意を頂きました。

また、(社)港区社会福祉協議会では、山岸久男事務局長、中澤亜男事務局長次長の出席のもと贈呈を行いました(写真)。席上、山岸事務局長から、新南ロータリークラブには日頃多くの行事に強力支援を頂いていることへのお礼のことばと共に、この程の雑誌の寄贈が職員を含め区民に対しロータリークラブへのより深い理解の助けとなるのではないかと期待を示され、感謝の意が述べられました。

この活動は、今年度初めて行われましたが、今後寄贈先の様子を見ながら予算を含めて次年度以降に継続できると良いと思います。(開発記)



◎社会奉仕委員会 荒木昭文委員長

本年度の社会奉仕委員会では、まずもう一度過去の社会奉仕活動を見直してみました。

その中で94～95年度の社会奉仕活動に関するアンケート調査があります。調査結果は、

- (1) 社会奉仕活動はロータリーでも職場又は個人でもすべきであり、特に考え方や実践をロータリーで学ぶべき又は学びたいとする考えの会員が多い。
- (2) 当クラブの社会奉仕活動について考慮すべき点は、「受け手の気持ちをくむ」「クラブの身にあった活動をする」「ふれあって共感する」などでありました。

これらのアンケート調査は5年前のものですが、基本となる考えは現在でも不変であろうと考えられます。

本年度の社会奉仕委員会の活動は、この基本の考えを下敷きにして21世紀新しい時代の1つのロータリークラブの社会奉仕活動は、そのクラブが存立する地域社会に増々密着した活動を心掛けることが大切であると考え、「地域におけるロータリー」を大きな枠組みとして活動計画を実行しております。

そして特に本年度は地域社会調査委員会との連携を密にして、「地域における教育とロータリー」をテーマとした大変有意義な奉仕活動が実現しました。

更に「地域社会との共生」をテーマとして、港区社会福祉協議会との連携によるボランティア団体への支援を通して地域社会との共生の活動を心掛け、我々ロータリアンもその団体を通して社会奉仕を学び、また体験し奉仕の心を育てる機会を生むことが出来たのではないかと考えております。

I. 上半期活動報告

1. 7月23日 「アイメイト協会見学会」
新南3号使用者 高橋雅枝さんの訓練を含め盲導犬育成施設の見学
2. 9月12日 「第11回日米少女水泳大会の支援」
国際奉仕委員会と共同支援・寄付金 各25,000円
3. 10月19日 「港区立高陵中学校 全生徒300名に対する救命救急講習費用の一部援助」
寄付金 100,000円
4. 10月22日 「港区社会福祉協議会と連携によるボランティア団体への支援」
支援先 ビバトランスプランテーション
車いすと共に歩く会
寄付金 各100,000円
5. 11月5日 「ビバトランスプランテーション 代表 木村春江氏の卓話」
「港区立高陵中学生の救命救急講習会」の見学
6. 11月27日 「車いすと共に歩く会のボランティア活動へ体験参加」
7. 12月10日 忘年家族会「チャリティーバザー」の開催
寄贈品 115点 収益金総額 245,500円
8. 年間活動 使用済切手・テレフォンカード・書き損じ葉書の寄付

II. 下半期活動計画

1. 2月～3月「港区立青山小学校生徒に対する盲導犬新南2号使用者三村栄子さん講演の支援」
援助金 講師料 30,000円
2. 3月31日 第5回クラブ協議会

「社会奉仕委員会にて協議会テーマを検討中」

3. 5月21日「風の子」車椅子(外に出よう)行事への体験ボランティア活動

検討中事項(1)チャリティーバザー収益金の寄贈先検討
(2)職業奉仕委員会・社会奉仕委員会協賛による活動

◎地域社会調査委員会

吉田用親委員長

I. 上半期活動報告

今年度当委員会の活動基本方針を「地域社会のニーズを調査し、主に社会奉仕委員会の奉仕活動のための情報支援活動実施」とした。

その上で、具体的な活動計画として、前年当委員会テーマ「ボランティアと教育」の調査活動を踏まえ、その発展として「地域における教育とロータリー」をテーマとした。前年度から引き続いての調査の結果、21世紀の教育は「生きる力」をキーワードに新しい教育指導要領が決定され順次実施に入っていることが判明した。

この指導要領の中で「総合的な学習の時間」が「生きる力」を養成する上で重要な位置づけがされているが、教育現場では、この時間をどのように活用し、教育に役立てていくか戸惑いがあり、現在は準備段階として模索が続いている状況のようである。文部省としてもこのような実態を踏まえ「総合的な学習の時間」の完全実施は2002年からとし、実施内容は各学校の自主性に委ねられている。

総合的な学習の時間の活用例はボランティアへの参加、地域社会の調査研究、インターネットによる海外校との交流等々正に総合的であり自由であるが、何れも「自分で考え行動する力」即ち「生きる力」を養成することに目的を置いている。

前年度当クラブが実施したアイメイト使用者三村栄子氏による本村小学校での講演もこの一環といえる。

今年度上期当委員会の活動としては

①前述の状況の把握

②当クラブの前年度までの活動の経緯から要請された下記2件の案件に対する理事会への報告書を提出した。

イ.港区高陵中学校生徒全員に対する「救命救急講習」費用の一部援助

ロ.青山小学校における三村栄子氏による講演料の援助

II. 下期活動計画

これまでの活動経過を踏まえ港区内における小・中学校を中心とした教育現場におけるニーズ調査を実施したい。

◎環境保全委員会

開発英基委員長

上期活動報告と下期計画

読売新聞ニュースセンターの企画による「環境保護キャンペーン」(地球環境平和財団・後援)への協賛は筈・南山・東町各小学校に対し、予定通り実施され、好評を博した。但し、予算的に半年約10万円の出費が大きく、継続実施してきた本計画は本年上期をもって中断せざるを得ない。

それから「マンガで見る環境白書」3部作を昨年度に寄贈した東山小学校を訪問し、感想文を入手した。本年は神応小学校への寄贈を準備している。

又、当クラブ会員と2750地区環境保全委員長の協力を得て、環境保全に関するアンケートを実施した。回収率73%、自由記入コメント延べ250件を超えた。今後アンケート結果を委員会活動に反映させてゆきたい。

◎国際奉仕委員会

佐々木忠行委員長

- (1) トルコ及び台湾地震義援金 ¥358,000を地区を通じて寄付した。
- (2) ポールハリスフェローは前期で福島会員に決定し、後期で酒井会員を予定している。
- (3) 準米山功労者は前期で開発会員、後期で小杉(眞)会員、佐々木会員を予定している。ベネファクターには渡部会長にお願いしている。
- (4) 交換学生としてオーストラリアからマデリーン・グレイス・デボア(15才)さんが1月19日に来日し、第1回ホストファミリーを後藤信夫会員に引き受けて頂いた。
- (5) 米山奨学生李さんが予定通り本年3月で留学を終了する。
- (6) 派遣奨学生 渡辺美紀さん(富士ゼロックス)の留学先がジョージタウン大学に内定した。
- (7) 千代田分区IM分科会「RIの人道的援助について」を担当クラブとして開催した。
- (8) 同額補助金援助のテーマを下半期で検討する。

◎クラブ奉仕委員会

西澤正雄委員長

三大奉仕委員会の充実した活動ぶりについて、まことに同慶に思います。

クラブ奉仕委員会としては、如何にクラブ運営を、明るく・楽しく・活き活きとしたものにしていくかということが、最大のテーマとして進めてきました。幸い各委員方の熱意とご努力によって、連携・協力もスムーズで極めて順調に運営されてきました。

なかでも、クラブ会報では、入校方法の改革によって大幅な効率化が実現、親睦やプログラムの盛り上げ、会員増強のご苦心、またIMの運営改革により手間と経費の大幅削減等々会員の皆様のご協力によって、評価出来るものとなりました。

6委員会について1ポイントのご報告をします。

出席は、99年7～12月の平均出席率87.09%です。

職業分類は、10年ぶりの大改革により会員増を支援。

会員選考は、候補者4名面接。

雑誌は、RI雑誌の紹介、「ロータリーの友」への投稿、雑誌月間に卓話予定。

広報は、雑誌委員会等との連携による投稿、地元メディアへの紹介、「ロータリーの友」の贈呈。

ソングリーダーは、年間スケジュール通り活動。

なお、クラブ会計は、入会見込とニコニコの未達等が主因で、相当深刻な状況にあり、支出内容の見直しなど知恵と工夫が求められることかと思ひます。また、卓話者の紹介も中々大変ですので一層のご協力をお願いします。

何といっても例会がメインですので、魅力ある運営と会員相互の対話の盛り上げを期待したいと思っています。



2月4日/ 13件 32,000円
99～2000年度累計 1,197,000円
多額の寄付有難うございました。

圓谷正和/行天さん、今日の卓話快諾して頂き、どうもありがとうございます。田中 武/行天さん、卓話よろしく願ひ致します。酒井一史/誕生日です。記念品有難うございます。宮武保義/立春です。金光圭一/無題です。吉田用親/2月1日の火曜会お世話になりました。開発さんご苦勞様です。山川政樹/本日早退させて頂きます。山下忠治/開発さんの笑顔に誘われて。荒木昭文/今シーズンはなんとか休みをつくってスキーに行きたいものです。相澤成憲/立春を迎えてニコニコ会計にも春が来ますように。鈴木康一/会員増強に私なりに努力します。庄司泰典/開発さん、酒井さんお疲れ様でした。開発英基/今日は久しぶりで小学校を訪問しました。子供たちが元気に校庭で遊んでいました。

◎親睦活動委員会

吉岡琢磨委員長

1. 上半期活動報告

- (1) 火曜会今年度テーマ「聞いてみよう話してみよう火曜会」 平均出席24名
- (2) 8月 暑気払の会 フォーシーズンホテル椿山荘
- (3) 9月 親睦ゴルフ会 桜丘カントリークラブ 初めて土曜日実施
- (4) 11月 親睦旅行会 山形・鶴岡・酒田方面
- (5) 12月 忘年家族会 フォークソングライブ 青木マリ子さん

2. 下半期活動計画

- (1) 新年会・歓迎会・食べ歩きの会 2月、5月予定
 - (2) 千代田分区ゴルフ会 3月 親睦ゴルフ会 5月
 - (3) 親睦打上げパーティ 6月30日(金) 三井倶楽部
- 今年度は21世紀に向けて大きな「節目」の年でもあり、ロータリー活動の源となる親睦を通じて、新旧会員が年齢差を越えて、一人でも多くの会員が進んで参加したくなる様企画を考え、更なる会員相互の理解親交を深める年にすべく活動しています。

◎会員増強委員会

青野信次委員長

1. 上半期活動報告

入会者 阪口恒雄会員 市河敬治会員 田村廣治会員
手続中 岩上義明氏 以上4名
退会者 鍋島晴夫会員、高橋良士会員、福田恭三会員
以上3名

委員会他開催報告

- 6月18日 第1回委員会(於全日空ホテル)
8月 4日 地区会員増強委員長会議(於京王プラザホテル)
8月 5日 第2回委員会(於花ごよみ)
8月27日 第2回クラブ協議会「会員増強…見直そう人縁、地縁」
11月16日 千代田分区CグループIMに出席(於学士会館)
A分科会テーマ「会員増強及び女性会員入会の取扱いについて」
11月26日 クラブフォーラムにてIMの報告

2. 下半期活動計画

見直そう人縁、地縁をおしすすめて行きたい。

◎プログラム委員会

高須康有委員長

1. 上半期活動報告

外部卓話者12回(夜間例会1回含む)、会員よりの卓話4回(イニシエーションスピーチ3回含む)、クラブセミナー2回。

2. 下半期活動計画

年度活動計画、方針に基づき、興味深いプログラムを企画していきたい。

◎ロータリー情報委員会 馬場一廣委員長

ロータリー情報委員会の活動は①会員候補者への情報提供②新会員への情報提供③一般会員への情報提供等である。

I. 上半期の活動

- (1) 会員候補者阪口恒雄、市河敬治、田村廣治三氏に対してクラブ入会にあたっての情報提供をした。

- (2) 新会員のカウンセラーについては木嶋公民氏に河原会員、阪口恒雄氏に村山会員、市河敬治氏に吉田会員が担当されることとした。
- (3) 3年未満の新会員対象の情報集会では「ロータリーの歴史」について勉強をした。
- (4) 例会での3分スピーチは関会員と村山会員が行った。
- (5) クラブ・セミナーは馬場会員が「シェルドン」について行った。

II. 下半期の活動計画

- (1) 会員候補者についての情報提供カウンセラーの選任は今後とも必要の都度行う。
- (2) 3年未満の新会員の対象の情報集会はつぎの予定で行う。
第2回 3月予定 「ロータリーとは」
第3回 6月予定 「RIと財団」
- (3) 例会での3分スピーチは今後とも適宜行う。
- (4) クラブセミナーは次の予定で行う。
2月25日 「コリンズ」 吉田会員担当
5月26日 「ガンディガー」 田辺会員担当
- (5) クラブ・フォーラムは次の予定で行う。
4月24日 テーマ検討中
- (6) ロータリーについての資料の出版
田辺会員が3年未満の新会員対象に、また、ロータリー研究会において話されたロータリーについての講話を資料として出版するため現在準備中で今年度中には頒布予定。
- (7) その他

◎会計報告

大村富俊会計

上期の一般会計は、収入が1,305万円、支出が1,378万円となり、73万円の支出超過となりました。この主な原因は、上期の入会予定者4名に対し、その実績が2名であったことです。

一般会計の収入減を補うべく、IM関係支出渉外費は、予算費35万円の削減をした。また、例会費の削減のため月に1回カレーの日を設け、1回1人当り1,000円の削減を行った等の支出削減努力を実行しました。

しかし、収入減を補うには至りませんでした。下期の入会予定者(予算)は、5名であり、これが実現できれば収支バランスをとることができます。仮に、これが3名の場合には100万円の支出超過となりますので、皆様、会員増強と経費削減をより一層お願いします。

◎まとめ

渡部会長

各委員会の熱のこもった発表をお伺いし、心強く感じました。いくつかの委員会から新しい発想と実践を拝聴し、大変嬉しく思いました。何か新しいことを手がけるのは素晴らしいことです。一方、ロータリーの基本に忠実にひたすら休みなく継続して実績を積み重ねることも大切であることは言うまでもありません。多くの委員会の不断の努力に頭が下がる思いです。さらに、次年度にまたがるプロジェクトの推進も重要です。計画は実行するためであると申します。会計面の制約もあり、ご苦勞をおかけしますが、年度後半、全員参加で宜しく願いいたします。(了)

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉真史
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL：03-3505-5976 FAX：03-3505-6004
例会日：毎週金曜日 12時30分
例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL：03-3505-1111

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、
後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、
村山 公士、田中 武、圓谷 正和、
保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武